



# 給料日目當に

## 怪盜學校を襲ふ

平第一及び第二兩小學校に  
今曉二時頃怪盜忍び込み各  
學級を荒し廻つた形跡ある  
を今朝發見平署に報告し被  
害其他調査中であるが幸ひ  
多大な被害はないらしく前

日の給料日を當て込みに忍  
入つた点其他の遺り口から  
見て近所に住む不良青年の  
仕業ではないかと云はれて  
ゐる

れ」と許り腕を撫しつゝ不  
寝番をして居た處へ案の條  
賊が這入り込んだのでソレ  
ツと計り取押へにかゝつた  
が不寝番の騒ぎが餘り大き  
過ぎて賊に氣付かれ遂に長  
蛇を逸し二同齒がみをして  
口惜しがつて居る右に關し  
職員の一入は語る度々取ら  
れた腹癒せに今度こそ捕へ  
る意氣込みでわざ／＼窓硝  
子の錠前迄外し待ち構へて  
ゐたのですがいざ這入つた  
となると武者ぶるいのみ激  
しく堪へかねてすぐ騒ぎ出  
したので遂に逃げられて終  
ひました後を追つたのです  
が刑務所裏の畑邊で見失ひ

# 不寝番の

## 武者ぶるひ

### 遂に賊を取逃す

足の速いに驚く職員

平第二小學校では屢々怪盜  
の見舞ひを受けるので是れ  
は給料日當てと昨晩から橋

本、渡邊、草野、古市の各  
職員が手に／＼棍棒其他の  
武器を持ち、『怪盜御參な

返事があつて始めて入る  
それと同じで先づ父兄と  
良く相談して許しを得た  
上求職の申込みをすべき  
である

# 求職戦線に 断然頑張る 女性群の進出

一日一日とぼかづいて草  
の青さが眼についでくると  
何となく家の中に許りはあ  
られなくなる……といふわ  
けでもあるまいが無断家出  
がめつきり多くなつて搜索  
願ひは毎日平署に舞ひ込む  
職業紹介所もその説諭に忙  
しい、これは家出人が、こ

家出の原因には色々ある  
が、多くは偉人の立志傳  
記を地で行かうとする者  
である。紹介所へ來れば  
どうにかなると信じられ  
るのは有難いが、さう簡  
單に行かないのが世の中  
であることを知つて貰ひ  
たい、物には順序がある  
一足跳びに二階には上れ  
ない、一段づつ階段を上  
がる位は分る筈だ、他人  
の家に入つて入つたら大  
變だ、先づ言葉をかけて

これは平職業紹介係員の話  
である  
しかし、彼等も臆氣なが  
ら時代意識はもつてゐるか  
愉快である、そしてその  
希望する職業も實業家方面  
特に將來獨立經營の出來る  
中小工業と簡易な商業に向  
きつゝあるが少年の部はサ  
ラリーマン生活を夢見てド  
ンキホーテも可成り多く小  
學校卒業生と共に給仕希望  
が断然他、或は求人の方は

全く残念でなりません人相  
は夜中の事とはつきり分  
りませんが印禅天に頼かぶ

りで年齢三十五、六才位小  
柄な男兎に角足の速いには  
驚きました

完成に近づいて居るので近  
く地鎮祭を執行し新廳舎の  
建築に着手すると

# 就職口を

## 開拓中に

### 平職業紹介所へ

#### 吉報が來た

平職業紹介所にては連絡小  
學校を卒業する男子七十名  
女子三十名の就職希望児童  
が既に申込み済となつて居  
り來月に入ると二百名を突  
破する申込みが殺到すると  
豫想して地元及び各地に求  
人側を訪ね就職口を開拓し  
つゝあるが本日東京の日本  
針布會社から高等小學校を  
卒業男子を見習工として百  
五十名採用したいと同紹介  
所にその斡旋方を依頼して  
來た採用者には旅費を給す  
る外見習中の日給は五十錢

その十分の一にも當らぬ僅  
少なので猛烈な競争を演じ  
てゐる、それに今まで男の  
給仕を採用してゐた炭礦會  
社方面が近來女を希望する  
やうになり益々男の就職は  
困難になつて來た

これは將來サラリーマン  
としての生活を約束せね  
ばならない男より結婚  
期には自然退職する女の  
方が経済的であるが又執務  
上人に接するに軟かだ好  
感を持つる爲でもあると  
或消息通は云ふ

#### 平職業紹介所報告

回人を求める方

- △豆腐賣子 四十以下 尋
- △賣子 二十九才 尋二修
- △店員 二十五才 尋卒
- △漁夫 三十五才 高卒
- △出前持 二十二才 高卒

- △採炭夫 四十迄 日給一圓二十錢位
- △給仕 十八才 佑賢卒
- △賣子 二十九才 尋二修
- △店員 二十五才 尋卒
- △漁夫 三十五才 高卒
- △出前持 二十二才 高卒

# 生花材料を

## 青年團資金に

### 草野村助役が寄附

草野村助役渡邊重彌氏は此  
程同村青年團の更生資材と  
して五葉松の苗木數百本を  
寄附栽植せしめたがこれは  
三年後に生花材料として東  
京方面に賣出す計りで各團  
員も責任を感じこれが育成  
に努めて居る

# 貧困な兒童に

## 教科書を給與

平町各小學校は今二十二日  
愛國婦人會本縣支部から貧  
困兒童に對し新學年度用教  
科書等給與すべき旨の通知  
に接したので目下貧困な新  
入學兒童及び進級兒童を調  
査中

### 平町人事

△材木町三五 遠藤守夫さ  
ん(三〇)

△材木町三五 遠藤守夫さ  
ん(三〇)

美味!

芳醇!

# 宗正らひた

山崎合名會社  
電話一〇番

看護婦急派

の求めに應

じます

平町南町

平看護婦會

電話三〇七番

市原醫院

平・田町

電話一一四番

# 街の勇士に包まれ

## 空巢ねらひ捕はる

### 平刑務所を出て間もなく

#### 東京其他各縣を荒し廻る

上小川村大字上小川生れ當  
時住所不定窃盜前科五犯國  
井三郎(三)は去る廿日午後  
四時頃茨城縣稻敷郡朝日村  
字上本郷の農本郷トク(六)  
方不在中を奇貨とし空巢視  
ひを働かうとした處を附近  
の者に發見されて逃げ場を

失ひ同家の椽の下にもぐり  
込んだが大勢に包圍され袋  
の鼠同様の姿で取押へられ  
たが同人は昨年十一月平刑  
務所を出所後東京を始め茨  
城栃木各縣を荒し廻つて居  
た強者である

# 濟生會の

## 寄附者氏名

### 割當額を超過し

#### 平署頗る好成績

既報平署に割當られた濟生  
會の資金募集額は既記の如  
く一萬六千八百圓に達し割  
當より三千九百四十五圓を  
超過する好成績を挙げたが  
寄附者左の如くである

今朝吉、加藤丈夫、馬目  
太平治、赤井福島炭礦  
日本製業會社、小川草野  
正壽(百二十圓)内郷佐藤  
昌殿(百圓)平色川勝三郎  
酒井秀次郎、久野ヒサ、  
鈴木堅助、猪狩庄平、東  
北化學工業社、小原喜八  
中野庄吉、河田梅吉、阿  
部政右工門、吉田由三郎  
平鐵工組合、内郷神奈川  
炭礦、四家又一、佐藤三  
平、湯本無盡會社、夏井  
箱崎庄助、磐崎大平菊治  
江名加澤一造、佐藤徳太  
郎、近藤春松、園田善之  
助、伊藤國藏、小名濱小  
野普平、岡山重喜、水野

# 陸軍記念日の

## 盛大な催し物

### 平町關係團體協議

平町在郷軍人分將校會將老  
兵會は聯合し卅周年記念に  
當る來月十日の陸軍記念日  
の催し物を打合せの爲め本  
廿二日午後七時より平町役  
場會議室に關係者が集つ  
て協議する由

# 尺八の

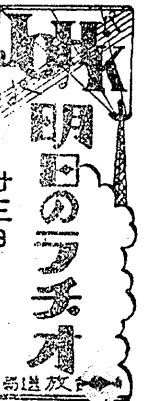
## 片破れが

### 遂に見付る

國井醫學士大喜ひ  
既報平簡易保險健康相談所  
の國井醫學士が紛失した中  
繼尺八の下部は町役場前  
を通過した好間村字小館五  
三號渡部年男さんが拾得し  
懸賞付の本紙記事を見て早  
速届出たので無事國井醫學  
士の手に戻り同醫學士は飛  
び立つばかり喜んで居る

# 姿を消した娘

千葉  
縣銚子市田中町園藤長女林



今晩は南東風  
明日は北東の風  
雨模様

# 今晩の部

後六、〇〇 子供の時間  
「歌のお稽古」子供テキ  
スト二月號特選童謡  
後六、二五 基礎英語講座  
(一四) 岡倉由三郎  
郷高橋炭礦

後七、三〇 講演「聖徳太  
子の御事ども」文學博士  
姉崎 正治  
後八、〇〇 掛義太夫  
「關取千兩轡」竹本東廣外  
後八、五〇 落語「くしや  
み」講釋 笑福亭枝鶴

後九、一〇 清元「四君子  
清元美津枝 外  
後九、三〇 時報 ニュー  
ス 氣象通報 番組豫告

後〇、〇五 尺八と三曲  
池田靜山他  
後二、〇〇 家庭講座「謠  
曲のお稽古」(一一)  
大槻 十三  
後五、〇〇 職業紹介事項  
後六、〇〇 (子供の時間)  
「ソコードの時間」  
後六、二五 英語講座(三  
の三) 深瀬 基寛  
後七、三〇 子供と家庭の  
夕  
後九、〇〇 時事解説

# 白米専門

## 賊は懲役

### 一年六ヶ月

昨報山形縣生れ目下住居不  
定無職前科三犯佐藤惣次郎  
(三)に係る白米専門の窃盜  
事件公判は二十二日午前  
九時半から平區裁判所で香  
西判事係り清田檢事立會の  
下に開廷事實訊問の上檢事  
から懲役一年六ヶ月求刑さ  
れたが判事から即決求刑通  
り言渡された

講演映畫の夕 縣の  
健康保険課では趣意普及の  
爲め來る廿五日午後六時よ  
り好間村小田炭礦に於いて  
講演と映畫の夜を催すと

裁判所たより  
△平町立町九自動車運轉手  
大里誠(三)は昨年十月六日  
午前六時頃湯本町傾城國道  
に於て貸切自動車運轉進行  
中前進し來つたトラックを  
避んとし通行中の内郷村  
立石米吉氏に追突全治十日  
間を要する傷害を與へ今二  
十二日平區裁判所に於て小  
林判事から略式罰金三十圓  
に處された

# 耐寒行軍

## 第一校の行程

平第一小學校は既報の如く  
來る二十六日午前八時一齊  
に校門出發、全校兒童の耐  
寒行軍を試みるが各學年の  
行程は左の如くである

(一年)古鐵治踏切―公園  
長橋―研町―瀧社女坂  
(二年)縣社―古鐵治―公  
園裏坂―同表坂―研町―  
紺屋町―縣社(三年)新川  
端―警察署側―田町(四  
年)新川端―新川町―大  
工町―田町(五年)内郷村  
小島―稅務署側―才樋小  
路(六年)小島―谷川瀨―  
警察署―田町(高等科)小

# 五ヶ年間の

## 健康者表彰

表彰式は來る廿五日午後一時より同署會議室で縣岡本  
健康課長臨席の上舉行される

若林所長講演 磐中  
は今二十二日午前十時半か  
ら平商は午後一時から各滿  
鐵附屬商業實習所若林所長  
の講演會を催した

満蒙現況講演 四倉  
町鷓鳴會は本廿二日午後七  
時から小學校講堂で本縣出

平署管内健康保  
險被保險者のう  
ち五ヶ年間健康  
を保持した者の  
を保持した者の

身滿鐵產業實習所若林平  
吉氏の滿蒙現況講演會を開  
く

高久校同窓會 高久  
尋常高等小學校は明廿三日  
學藝會を催し午後からは同  
窓會を催して福島教育新聞  
社長作山美八氏の講演があ

# 一冊の代金で

## 御希望通りな

### 五冊の雑誌が

#### 自由に讀める

# 川崎巡

## 回文庫

電六三〇番  
(申込次規則書進呈)



# 明治太平記

(禁無標認)  
上映及上演

(作) 寺島雄史  
(監) 野口温

## 第五十九回 助太刀商賣(下)

「明日旦那様が、こちらへいらつしやる頃呼び寄せます」  
「いけない」  
「あら」  
「あなたと、二人りだけで此室にをることはなりません」  
「ですから、給仕の部屋にでも待たしてをきますわね、せひ馬丁を取替へて下さいましな」  
「……」  
「パークスは、やむなく首をたてに振つてしまつた。女の媚態に抗しかねて、罪もない馬丁を敵首にしなればならぬのだ」  
「それから……旦那様、あたしにもたまにあの、綺麗な馬車に乗せてくださいましな。いけない?」  
「困る、英國公使の體面に關する事ぢや」  
「まあ、随分ね。あたしをそんなにかろんじていらつしやる?」  
「ふいと、射をすねた。パークスは、周章を、おとわの肩に手を廻し、前を取消した。  
「いや、悪かつた、わたし

程経て、パークスが満足げに立去つた後で、やつと寢臺の下の大志賀は、太く息なきながら、這ひ出した  
「助太刀屋さん駄目?」

「わ」  
「だらうと思つて這ひ出したのだが、いやはや随分辛かつたよ。ハ、ハ、ハ」  
大志賀の、こともなげな豪快な笑ひが、おとわを羞恥にうつむかしめた。  
「兄の仇を討たうといふ大願から、こんな境涯にはいつてをるおぬしだが、さぞ嘆きの多い事だらう、のう……」  
「はい」  
「しかし、今少しの辛抱ぢや、棄鉢に身を持崩すではないぞ」



おとわは、容子のおかしさを堪えながら、ま顔でさゝやいた。  
「えパークスさんが」  
「おつと」  
大志賀は、ふたゝ寝臺の下へもぐり込まうとした  
「オホ、ハ、ハ、嘘、嘘よ。もうあのけだもの來やしな

「は、はい。あのう、助太刀屋さん」  
顔をあげた、おとわの双眸に涙が光つてゐた。  
「何か?」  
「あなた、パークスのお馬車の馬丁さんになつて下さらない?」  
「織手をのべて大志賀のた

のもしい手をしつかり握つた。  
「ほう、さいせんの話あれは此俺を推せんする氣だつたのか」  
「はい」  
「しかも、おぬしまでパークスと同乗出来やうに事を運んだのう。おとわ、仇討本懐の日は近づいたぞ」  
「はい、うれしうござんすパークスのお馬車にはたいていウエルズが同乗してをります。敵とやらんで腰掛るのですわ。助太刀屋さん其時はどうぞ……」  
「ようし!」

### 外科 内臓 外科

病室完備

醫學博士 諸橋鐵彌  
◎新川町二七 (電四六四)

### 生徒募集

一、卒業年限 兩科通ジテ一ケ年  
二、入學資格 高等小學卒業又ハ同等ノ學力アル者へ無試験入學ヲ許ス

一、申込期日 四月八日迄  
平町二丁目

### 石城産婆學校

看護婦 校長 鹿崎千代  
電話三五七番

# 市子産 魚問屋

店理代平命生本日大最優最  
榮 盛 賀 志  
(三一電)目丁四平

木炭代用

月星豆炭 一八キロ壹袋

盒八十錢

阿部石炭商店

十錢日掛で

蓄音器が買へます

(此際申込の方にレコード十枚進呈)

レコードはメトロ

蓄音器の修理は實費でいたします  
春の宵にふさはしい

名曲レコード(五枚一組)

宣傳のため一晩十錢でお貸いたします。ハガキで申込下さい、お電話頂いても順番が御座いますからその日にお届け致し兼ねる場合も御座います

安いので奉仕する一坪の店

平町四丁目

メトロレコード店  
電話(呼)二一四番